

金沢大学広報誌 | アカンス

Acanthus

No. 38
教育号

＜HANG＞IN＞

変わる入試, 新しい組織

- 02 [特集] CHANGING 変わる入試, 新しい組織
- 10 最新! 16学類NEWS
- 12 金沢大学の学生支援 英語学習サポート
- 13 CIRCLE&PROJECT
- 14 研究室へGO!
- 15 もっと知りたい! 金沢大学のNEW SPOT



田中 真治 教諭
(石川県立金沢泉丘高等学校
進路指導課 主任)

＜HAN＜IN＞

変わる入試,新しい組織

石川県立
**金沢泉丘
高等学校**
進路指導教諭



国立大学法人
金沢大学
学長補佐

尾島 恭子 学長補佐
(入試・入試改革・学生募集・広報戦略担当)
(人間社会研究域学校教育系 教授)



》高校で培った表現力・発信力をさらに磨く

尾島：早速ですが、最近の高校生はどんなタイプの生徒さんが多いんですか？

田中：家庭の話だと、親とすごく仲がいい子が多いですね。特に男子！母親が部屋に入ることに抵抗がないんですね。

尾島：最近の高校生の傾向かもしれませんね。

田中：それって気質ですね！昔は中学、高校のどこかの時期で急激に子どもの反抗期があって、それが過ぎれば劇的に親子仲が良くなっていったような気がします。でも、今は変化が緩やかなんでしょうね。あとは、やんちゃな生徒はいないな、という印象を受けます。おとなしくて真面目な子が多いです。

尾島：確かに！真面目ですね。本学の学生もそういった雰囲気はあります。田中先生は、今の高校生に大学ではどのような力を身に付けてほしいと考えていますか？

田中：今、高校では、発信力や表現力をすごく重要視しています。本校はSGHとSSHの両方の指定を受けていて、これらは物事をいかに相手に伝えるかが重要になりますが、日本人は少し苦手なんですよ。ですから、単なる発表だけではなく、

いろいろな伝え方の指導に取り組んでいます。でもそれは、大学でさらに磨きがかかることを前提に行っているんです。

尾島：高校から大学へつながった形で教育する、ということですね。

田中：はい。大学教育には、いかに発信して物事をうまく表現できるようになるかというところに、高校での教育以上のものを期待しています。

尾島：本学は「金沢大学〈グローバル〉スタンダード」(KUGS)という基準を設けていまして、その中には今お話にありました、「考え・価値観を表現する」力を養うことも含まれています。高校で培った能力をさらに発展させていけると思います。

》共通するのは地域からの期待と国際化の進展

尾島：田中先生は本学をどのような大学だとお考えですか？

田中：地元の国立大学です！非常に応援しています。また、本校との共通点が多い大学だなと思います。

尾島：共通点というのは？

田中：金沢大学は、日本海側の拠点校です！

高校の先生から見た金沢大学

金沢大学の尾島 恭子 学長補佐と

石川県屈指の進学校 石川県立金沢泉丘高等学校
の田中真治先生が金沢大学の取り組みや改革、
入試などについて率直に意見を交換しました。

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」。その理念を基に、グローバル社会の中核的リーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成のため、本学は教育機能の強化に向けた大学改革を行っています。

人材育成という面において、地域や保護者の方からも期待が大きいと思います。本校も地域リーダーの育成をずっと昔から目標にしていますので、地域からの期待が大きいです。

尾島：地域ということ言えば、本学は金沢にある大学ということで、歴史や文化といった、創造的な価値を学ぶことができるのも魅力の1つだと考えています。地域にありながらも、地域の中で完結するのではなく、さらに世界を目指していく。そういった方針で人材育成を進めています。

田中：そうそう、グローバル人材の育成という点も共通点ですね。金沢大学が文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択されたのと、本校がSGHの指定を受けたのは、大体同じような時期ですよ。

尾島：国際化というのは今まさに本学が力を入れている点です。単に英語が話せばいいということではなく、それを学んだ学生が社会に出て、どう生かしていけるかということを重要視しています。

》グローバルリーダーの育成に向けて

田中：それから、改革にすごく熱心な大学だなという印象もあります！昨年度(平成28年度)から

授業の仕組みが新しくなりましたよね？

尾島：はい、クォーター制(4学期制)を導入しました！4年間のうちに1度は留学しようということで学生の背中を押している取り組みの1つです。

田中：クォーター制だと留年せずに留学ができるということなんですよ？

尾島：そうですね。例えば夏休みと次の学期を合わせて簡単に留学することができます。また、本学では授業の英語化も進めています。

田中：授業を英語化すると、学生がどのくらい内容を理解できるのかがちょっと気になりますね…。

尾島：1年生の時は授業についていくのが難しいと思いますが、それを積み重ねていくうちに卒業する頃には…

田中：理解できるようになる？

尾島：理解できるようになる！というのを目指しています(笑)

田中：なるほど！将来的には全授業の半分ぐらいを英語化するんですね？

尾島：学士課程では50%、大学院課程では100%を目指しています。これからの社会では英語の重要性がますます高まるでしょう。

》SGH(スーパーグローバルハイスクール)

国内外の大学を中心として、企業や国際機関などと連携を図り、国際的に活躍できるグローバルリーダー育成に取り組む高等学校等のこと。金沢泉丘高校は平成27年度に指定を受けた。

》SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等のこと。金沢泉丘高校は平成15年度に指定を受けた。

》金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)

本学が育成する人材の具体的な姿を示したもの。①自己の立ち位置を知る ②自己を知り、自己を鍛える ③考え・価値観を表現する ④世界とつながる ⑤未来の課題に取り組む、という5つの基準がある。

》スーパーグローバル大学創成支援事業

世界トップレベルの教育研究を行う大学や、国際化を牽引する大学を重点的に支援する文部科学省の事業。本学は平成26年度に採択された。

Kanazawa Izumigaoka High School

TANAKA Shinji

Kanazawa University

OJIMA Kyoko

田中：金沢大学は留学生も多いですね。英語を話せる学生も多いです。

尾島：授業の英語化は初めは戸惑うかもしれませんが、自分に課された課題をこなしていくうちにのびと力が身に付いていくと思います。でも、高校側として一番関心が高いのは、やはり入試でしょうか。

田中：そうですね。生徒たちには、大学の先をにらみなさいと常に言っていますが、生徒は就職というところにはあまり意識がいかないんです。ずいぶん先のことで、イメージが湧かないんでしょう。

尾島：本学は就職率が高いことも強みの1つで、保護者の方には関心を持っていただいているんですけどね。

田中：そうなんです！保護者・教員は就職率が高い大学がいいと思うんですけど、生徒たちには響きにくい。ただ、大学でどんな勉強ができるのかという点は、志望校を決める時に注目していますよ。

▶ 平成30年度の学類改組と一括入試制度の導入

尾島：本学の改革の1つに来年度(平成30年度)の、理工学域の学類改組がありますが、ご存知ですか？

田中：詳細についてはまだよく分かっていないんですけど、(資料を見ながら)・・・6つの学類が7つになるんですか？このフロンティア工学類(仮称)というはいくつかの分野が混ざってるんですかね？

尾島：そうですね。もともとあった3つの学類の要素を含んだ、分野融合型の新しい学類です。今回の改組は全てが変わるわけではなく、時代や社会のニーズに合った形で分野を再編成したもので、人間社会学域でもコースの改編を行います。また、今回入試の改革も行います。

田中：一括入試の導入ですね。ちょうど先日、新聞の記事を見ました。もう導入は決定なんですか？

尾島：はい、文系・理系の一括入試は平成30年度の後期入試から導入することが決まっています。入学してから、「思っていたものと違った」というミスマッチを防ぐ意味合いも含め、幅広い枠組みで入学者選抜を行う形に変えます。「私はこれを学びたい!」という専門性を決めかねている受験生にとっても、いいシステムです。

田中：広い枠組みで入学して、入学後に専門を決めるというのは金沢大学が学域学類制になった時の発想と同じですよ。前期では学類まで決めて受験することができ、後期では文系、理系というさらに大きな枠組みで受験できる。両方のシステムを使ってバランスが取れているように感じます。一括入試は、目玉になると思います。

尾島：ありがとうございます。今回の学類改組や一括入試に限らず、今後も本学の強みを生かしつつ、社会あるいは受験生のニーズに合った形で改革を進めていこうと考えています。

クォーター制

1年を4つの授業期間に分けた仕組み。これにより、海外大学で多く実施されている3カ月程度のプログラムへ参加しやすくなる。

学域学類制

入学の基本的な単位を「学類」とすることで、これまでの「学部・学科」よりも幅広い学びの機会を提供する制度。学びの基礎を固めながら、自分が本当にやりたいテーマを探っていくことができるのが特徴。

※P2～P9に掲載の学類改組、一括入試などについては現時点(平成29年7月)での内容であり、今後、変更となる場合があります。

＜HAN＜IN＞! 人間社会学域

時代と共に変わりゆく社会のニーズに対応するため、学びを一層充実させ、総合的・学際的視野を備えた人材の育成を目指します。

平成30年4月、人間社会学域の **コース** が変わります！

人文学類 心理学コース / 人間科学コース / フィールド文化学コース / 歴史文化学コース / 言語文化学コース

法学類 公共法政策コース / 企業関係法コース / 総合法学コース

★コース再編

経済学類 **エコノミクスコース(仮称)** / **グローバル・マネジメントコース(仮称)**

学校教育学類 教育科学コース / 教科教育学コース

★コース新設

地域創造学類 福祉マネジメントコース / 環境共生コース / 地域プランニングコース / **観光学・文化継承コース(仮称)**

★定員増

国際学類 国際社会コース / 日本・日本語教育コース / アジアコース / 米英コース / ヨーロッパコース

経済学類

入学定員：135名

経済のグローバル化が進む現代社会において、高い分析力と実践力を持ち、自ら経済学的課題を研究して解決に導く人材の育成を目指し、既存の3コースを2コースに再編します。



経済学類長：武田 公子 教授



育成する人材像

エコノミクスコース(仮称)
ミクロ・マクロという経済学の基礎的理論を前提として、その他の応用的理論や計量的手法と共に、政策の具体的諸分野に関する枠組みや現状分析、政策課題などを学びます。

経済の基礎的理論と政策に関するバランス感覚を持ち、経済理論に裏打ちされた実践的な評価能力を備えた人材



育成する人材像

グローバル・マネジメントコース(仮称)
世界各国の経済や国際金融に関する教育を通して、営利・非営利の企業活動におけるマネジメントサイクル(計画→実行→評価→改善)の全体像および各局面について学びます。

国際経済についての多角的な視野を持ち、主体的に組織経営できる職業人としての基礎的能力を備えた人材

地域創造学類 入学定員：90名

グローバル社会の中で、地域固有の文化や伝統を学び、考え、地域づくりをリードできる人材が求められていることから、観光学・文化継承コースを新設します。



地域創造学類長：山岸 雄子 教授



育成する人材像

観光学・文化継承コース(仮称)

観光への関心が高まる現代において、自然や文化などの特色を生かした地域づくりに関する理論や実践を通じて、地域に根差した持続的な観光や異文化交流について学びます。

地域の文化伝統の価値や意義を把握し、観光や交流を通じた個性ある地域づくりに貢献できる人材

国際学類 入学定員：85名

国際社会への深い洞察力と豊かなコミュニケーション力を有する人材が一層求められていることを背景に、定員を15名増やします。



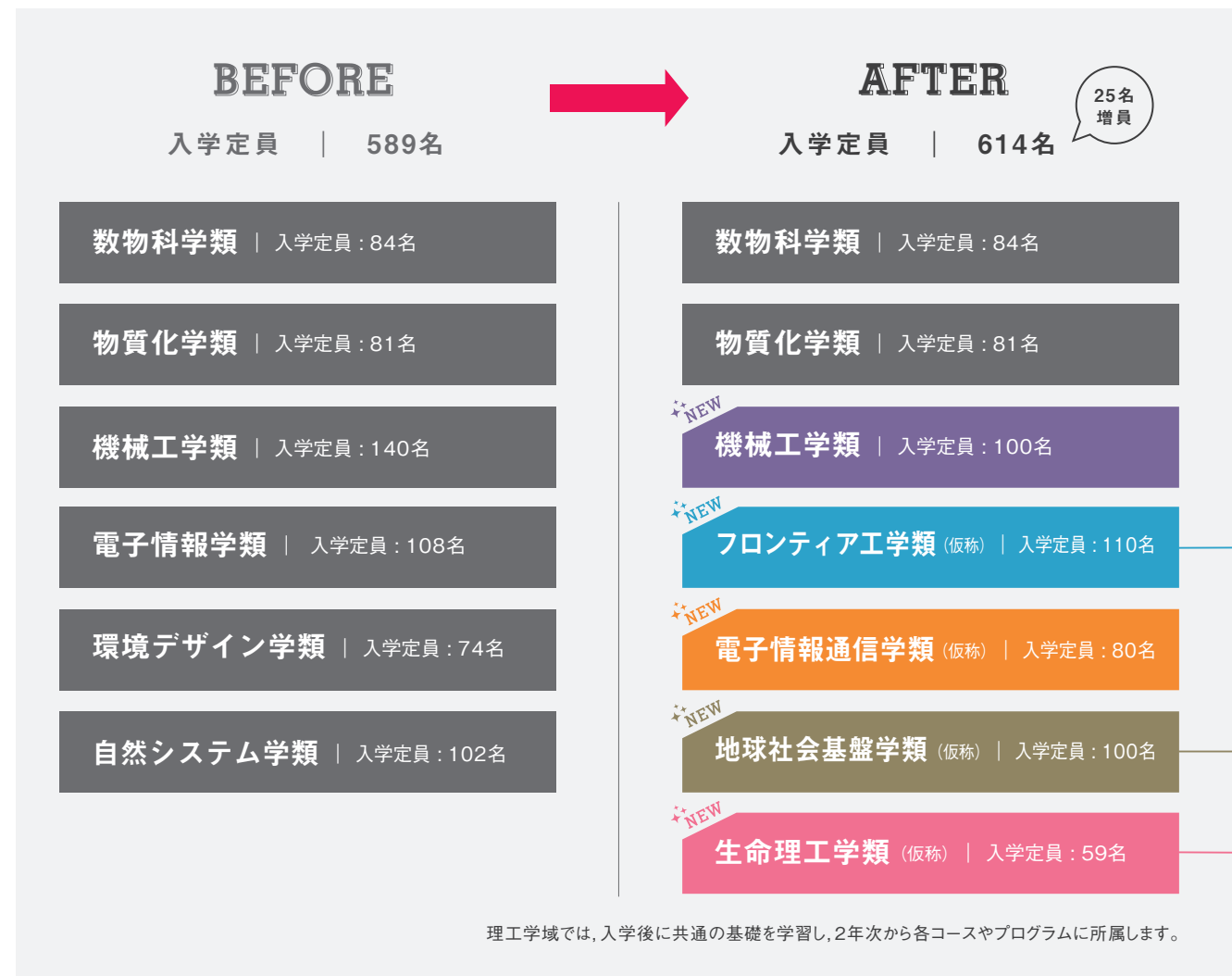
国際学類長：加藤 和夫 教授

私が所属する国際学類では、日頃から留学生と関わる機会が多いため、交流を通して多角的な視野を手に入れることができます。多くの海外提携校を持つ金沢大学だからこそ、多様な選択肢から自分に合った大学を選んで留学することもできました。大学の改革で国際学類の定員が増えると、志望する受験生のチャンスが広がるので良いと思います。



人間社会学域
国際学類4年
小笠原 千尋さん

平成30年4月, 理工学域は **6学類** \\再編/
▶▶▶▶ **7学類** に生まれ変わります!

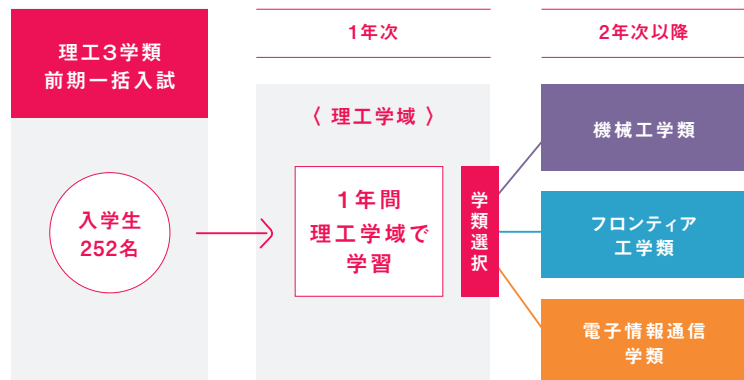


》理工3学類 前期一括入試

理工学域では, 以下の3学類を対象に, 平成30年度入学者選抜(前期日程)から一括入試がスタートします。



本入試による入学生は, 入学後1年間「理工学域」に所属し, 共通教育科目と理工3学類の基礎的科目を学びます。それぞれの学類の特徴などを理解した上で, 2年次からいずれかの学類に所属します。なお, その他の4学類については, 学類個別の入試を前期日程で行います。



フロンティア工学類 (仮称)

本学類ではコース制は採用せず, 工学分野の専門基礎を学ぶ「コアプログラム」と, 6つの「フロンティアプログラム」を組み合わせて学習します。専門性を構築するとともに, 分野融合による工学の未踏領域(フロンティア)を開拓する素養の習得が可能です。

育成する
人材像

機械工学, 化学工学, 電子情報工学の知と技を結集して, さまざまな未踏領域を切り拓き, 工学の飛躍的發展を牽引していくエンジニア・研究者



地球社会基盤学類 (仮称)



地球惑星科学コース (仮称)



多分野にわたる地球惑星科学の講義で知識を身に付け, 最先端分析機器を用いた室内実験で分析法を学びます。

育成する人材像 地域から地球規模までの多様な問題を解決できる研究者・技術者・教育者



土木防災コース (仮称)



社会基盤施設の構築に必要な不可欠な工学知識と技術を, 理系の視点に捉われずに多様な観点から学びます。

育成する人材像 道路や橋梁, 堤防といった社会基盤の構築や長寿命化などに取り組み, 豊かな社会を実現する公務員や技術者



環境都市コース (仮称)



都市の創造と発展のあるべき姿を環境との共生をキーワードにして多面的, 学際的に学びます。

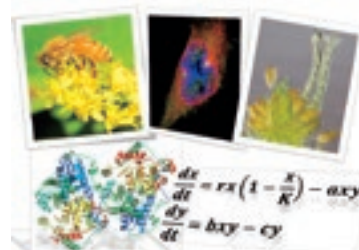
育成する人材像 住み良い都市づくりで出会うさまざまな問題を, 交通と環境の視点から解決していく専門家

生命理工学類 (仮称)

「生命」をテーマとした3つのコースで構成され, 最先端の生命科学や環境科学, 海洋資源工学, 生命工学について, 理論と実践の両面から教育を提供します。



生命システムコース (仮称)



分子・細胞・個体・生物社会レベル全般にわたる生命システムの作動原理を学びます。

育成する人材像 生命現象の原理や生物の多様性を生み出したダイナミクスを解明し, 成果を社会に生かす研究者・技術者・教育者



海洋生物資源コース (仮称)



海洋とそれにつながる陸水圏を対象に, 分子から細胞, 個体, 生態系レベルの生物学を学びます。

育成する人材像 21世紀社会における生命・環境・資源に関わる問題を解決できる研究者・技術者・教育者



バイオ工学コース (仮称)



微生物をはじめとする各種生物の産業応用と技術開発に向けて, 化学工学的知識を基盤に, 生物学の知識を学びます。

育成する人材像 問題発見能力と問題解決能力, 科学的知識とその展開能力などを身に付けた研究者・技術者・教育者

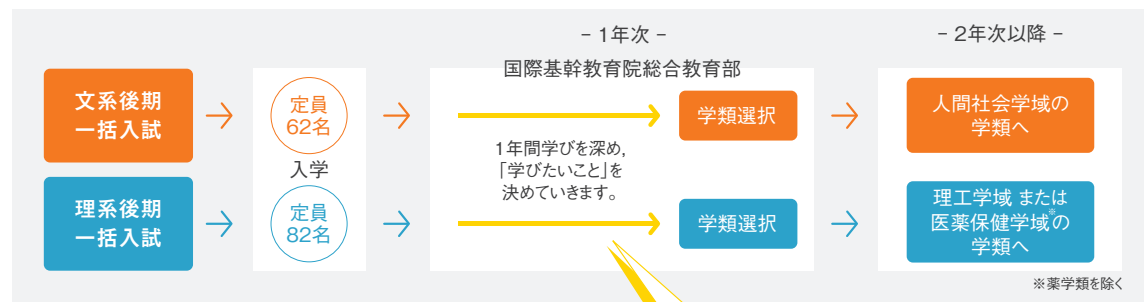
<HAN IN>! 入試制度

平成30年度,学類改組と共に入試改革も行います。

》一括入試制度を新たに導入

金沢大学は,平成30年度入学者選抜の後期日程試験で,一括入試制度を新たに導入します。この入試制度の特徴は,入学後に学類を選択できることです。文系・理系という大きな枠組みの中で,さまざまな分野を幅広く学び,じっくりと考えた上で自分の専門を決めることができます。

対象	全学類(薬学類を除く)		
試験科目	大学入試センター試験 必要科目		
文系後期一括入試	3教科 3～5科目	必須：外国語(英語) 選択：国語,地理歴史,公民,数学,理科から2教科	総合問題 (英文を含む場合があります)
理系後期一括入試	2教科 3科目	必須：外国語(英語),数学I・数学A,数学II・数学B	物理,化学から1科目選択
入学後の流れ	後期一括入試の入学生は,入学後1年間,国際基幹教育院総合教育部に所属します。1年終了時には,本人の希望と1年次の成績評価等により,所属する学類を決定します。		



理工学域
自然システム学類4年
南井 亮人さん

在学生に「一括入試制度」について聞いてみました!

高校時代,化学が一番好きでしたが,他の分野にも興味があって進学先に悩みました。入学後にいろんな講義を受けて,化学工学という自分の学びたい分野を見つけることができました。後期一括入試で入学すると,1年の間に,講義で自分の向き不向きを見つたり,先生方や先輩,同級生と情報交換したりして,多くのことを知った上で学類が選べるので,メリットは大きいと思います。

総合教育部での学びをサポート!

国際基幹教育院の「アカデミック・アドバイザー」教員(文系・理系各1名)が,総合教育部に所属する学生をサポートします。専門的知識に基づいた個別指導による学習支援や,各学類の担当教員と連携しながら,学類選択時のアドバイスをを行います。

》英語外部試験スコアの入試活用

平成30年度入学者選抜では,英語に関する以下の外部試験のスコアを活用できるようになります。これは,外部試験で一定以上のスコアを取得している場合に,そのスコアに応じて大学入試センター試験の「英語」に得点を与えるものです。

利用可能な英語外部試験とスコア	
GTEC - CBT	TEAP
820以上	246以上
TOEFL - iBT	IELTS
45以上	3.0以上

※外部試験のスコア提出が認められる試験区分および学域・学類については,「入学者選抜に関する要項」等でご確認ください。
※外部試験のスコアを提出する場合でも,大学入試センター試験で「英語」を受験する必要があります。

<HAN IN>! 大学院

大学院教育の高度化と国際化を図り,人類の未来を切り開く使命に果敢に挑戦する研究者や高度専門人材を育成するため,新たに研究科・専攻・コースを創設します。

》新学術創成研究科融合科学共同専攻(仮称)を創設

卓越した発想と行動力を基に,社会を力強く導く「科学技術イノベーション人材」を育成するため,金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学の両大学が共同で大学院教育を行う共同教育課程を立ち上げます。

平成30年4月START! /

共同教育課程

金沢大学

新学術創成研究科融合科学共同専攻

- ・博士前期課程(2年) / 14名(予定)
- ・博士後期課程(3年) / 14名(予定)

北陸先端科学技術大学院大学

先端科学技術研究科融合科学共同専攻

- ・博士前期課程(2年) / 10名(予定)
- ・博士後期課程(3年) / 5名(予定)

※博士後期課程は平成32年度開設を目指して構想計画中です。

3つの特色

1つのカリキュラムを編成

両大学からそれぞれの特色ある分野の科目を提供し,1つのカリキュラムを編成。

2つの大学の強みを融合

両大学から異分野融合型の教育研究に対して強い意欲と優れた研究実績を有する教員を担当教員として配置。

3つの挑戦的なイノベーションの枠組みを設定

学生は,自分自身が取り組む社会的課題に応じていずれかの枠組みを選択し,それに対応したカリキュラムを履修。

I ライフイノベーション	健康的で質の高いライフスタイルの創出を目指す
II グリーンイノベーション	環境に適合した次世代型「材料・デバイス・エネルギー」の創生を目指す
III システムイノベーション	科学技術と人や社会とが調和した未来社会の創造を目指す

さらに

国内外の企業インターンシップや海外への研究留学などをカリキュラムに組み込み必修化!

異分野融合型の教育を促進する観点から,ラボローテーション[®]をカリキュラムに組み込み必修化!
※いくつかの研究室に数カ月ずつ所属して実際の研究活動を体験する制度。

飛び入学や早期修了制度を活用!

学生への経済的支援や留学支援などの制度を充実!

》人間社会環境研究科地域創造学専攻に教育支援開発学コース(仮称)を創設

いじめ・不登校などによる子どもを取り巻く環境の多様化・複雑化およびアクティブ・ラーニングや英語教育などの新たな教育課題に対応するため,教育支援の専門家を育てる新たなコースを平成30年4月に設置します。

特徴	学校現場での実際の業務をインターンシップで経験することにより,教育支援の実践力を養うことができます。また,海外の教育を学ぶ機会や海外の研究者から教育を学ぶ機会が設けられています。
育成する人材像	学校教育の授業・行事企画において,専門的な見地から教員にアドバイスできる教育プロデューサーや教育コーディネーターなどの「チーム学校」のスタッフとして,教員と連携して児童生徒をサポートできる人材
進路	学校スタッフ,公的機関・民間企業・NPOの学校教育に関わる職員など



学校であらゆる業務を行う教員の負担を軽減するため,資格を持った専門スタッフや地域の人たちが学校教育のサポートを行い,教員が授業に専念できる体制づくりを目指す。

人間社会学域

College of Human and Social Sciences

人文学類

安部聡一郎准教授が
中国で国際共同研究を実施

東洋史学の安部聡一郎准教授は、科学研究費の助成を受け、平成28年10月末から半年間、中国・湖南大学で、近年同地で多数発見されている秦・漢・三国時代の竹簡・木簡の共同研究を行いました。また、南開大学や北京師範大学でのシンポジウムにおいてコメンテーターを務めるなど、現地での学術交流を深めました。



現地博物館での竹簡・木簡調査風景

法学類

第1回エジンバラ大学
法律英語研修を実施

法学類生および関連の大学院生を対象として、第1回エジンバラ大学法律英語研修を実施しました。参加した12名は、イギリスで3週間ホームステイをしながら同大学で法律に特化した英語を学び、修了証を得て帰国。同大学にも初の試みとなった法律専門英語研修に、研修担当者から「来年以降の研修も楽しみにしています」と好感感をえました。



エジンバラ大学での学習風景

経済学類

英語・アジアビジネス研修
@シンガポール始動!

今年度から、生きた英語を学び、多文化とアジアビジネスを体感することを目的とした2週間のシンガポール研修を始めます。経済学類が持つネットワークを活用して立案した研修であり、計48時間の英語研修や企業・起業家訪問、シンガポール国立大学生との交流などを通じて、真のグローバル人材育成を目指します。

シンガポール海外研修Webサイト
<http://econ.w3.kanazawa-u.ac.jp/abroad/singapore.html>

学校教育学類

「地域概論」開講!
地域を学び、修学旅行の立案へ

今年度も第1クォーターに、1年生対象の「地域概論」を開講しました。学校教育学類では、さまざまな教科の観点から地域を見直し、新たな視点を養いながら、最終的には学生自身で「修学旅行を立案する」ことを目標としています。多くの学生が、実際に先生になった時のことをイメージしながら、課題に取り組んでいます。



地域創造学類

地域を対象としたレジリエンス思考
について講演会を開催

地域創造学類は、レジリエンス(回復力)をテーマとする連続研究会を開催しました。最終回となる3月14日には、ストックホルム大学ストックホルム・レジリエンス・センターのトーマス・エルムクヴィスト教授による講演会「都市のレジリエンスと持続可能性」を開催。本学の研究者による報告もあり、参加者らは活発に意見交換しました。



報告に耳を傾ける参加者ら

国際学類

学類恒例の
新入生歓迎合宿を実施

4月8日、9日に、新入生歓迎(オリエンテーション)合宿を実施し、今年も新入生のほぼ全員が参加しました。2年生の実行委員約20名が多彩な企画を準備。2日目の「みんなで話そう!」のコーナーでは、先輩や留学生と楽しく語り合う新入生の姿が見られ、学類のアットホームな雰囲気ささくなくんでいる様子でした。



先輩や留学生と交流する新入生

金沢大学3学域・16学類から最新のとれたて「旬」な情報が届きました!
イベントや近況、注目の研究など
バラエティに富んだ金沢大学の現在を身近に感じてください。

理工学域

College of Science and Engineering

数物科学類

チェコ工科大学
留学プログラムが始動!

数物科学類では、平成28年度からチェコの首都プラハにあるチェコ工科大学への留学プログラムを開始しました。参加した10名の学類生は、3週間の滞在期間中に数学・物理学・計算科学の講義を英語で受講し、現地の教員や学生と交流。また、プラハ市内の歴史的な城や教会などの世界遺産を訪れ、西洋文化への知識を深めました。

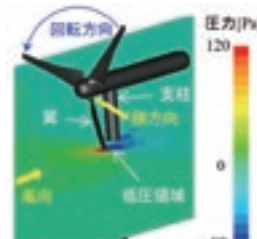


現地の教員や学生とアイススケートで交流

機械工学類

高性能な風力発電システムの
研究開発

流体工学研究室の河野孝昭准教授の研究グループは、高性能な風力発電システムの開発を目指し、発電効率・強度・騒音などのメカニズムの解明に取り組んでいます。近年、回転中の翼の風下側に形成される低圧領域が、支柱の横方向の共振に大きく寄与する可能性を解明。振動制御技術の開発による安全性の向上や長寿命化が期待されます。

数値流体力学シミュレーションによる
風車周辺の圧力分布

環境デザイン学類

都市・河川防災寄附講座を新たに設置

北陸地域づくり協会からの寄附を受け、4月から新しく都市・河川防災寄附講座を設置しました。この寄附講座では、わが国で比較的発生頻度が高い河川災害に焦点を当て、インフラ整備などのハード面から避難計画などのソフト面までを対象として、北陸地域の防災力・即応力の強化につながる研究に取り組んでいきます。

平常時(左上)と平成20年7月豪雨時
(右下:石川県土木部河川課提供)の浅野川

物質化学類

夏休みは化学実験体験イベントに
参加しよう!

8月4日、高校生が実験を通して最先端のサイエンスを体験する「理学の広場」を開催します。また、8月7日のキャンパスビジットでは、Webサイトや大学案内だけでは知ることができない学類の雰囲気を感じられる化学実験体験イベントを実施します。どちらも例年、多数の参加者から好評を博している人気イベントです。



昨年の「理学の広場」

電子情報学類

アクティブ・ラーニングを促進する
新しい計算機実習システム

今年度、情報教育用の新しい計算機実習システムを導入しました。さまざまなパソコンやタブレット端末から、いつでもどこでもサーバー上にある自分のデスクトップに接続し、実習の続きや宿題に取り組むことができます。利便性が高いため、グループワークやゼミナールなど、アクティブ・ラーニングにも有効活用されています。



計算機実習システムを活用した授業

自然システム学類

GSC第2ステージで野々市明倫高校生
が研究室活動に参加

4月からグローバルサイエンスキャンパス(GSC)^{*}の第2ステージが始まり、生物学コースに石川県立野々市明倫高等学校3年の竹田幸史朗君が参加しています。竹田君は小林功助教の研究室でゼブラフィッシュを用いた造血幹細胞の発生に関する研究に取り組み、その研究成果を9月に発表します。GSC第1期生としての成果が期待されます。



実験に取り組む竹田君

^{*}世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成を目指す高大連携プログラム

医薬保健学域

College of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences

医学類

116名の医学類生が卒業!

3月23日、116名の学生が医学類を巣立ちました。2月に行われた第111回医師国家試験合格率も全国80大学中第7位と良好な成績で、卒業生は4月から附属病院などで2年間の初期臨床研修を開始し、医師としての第一歩を踏み出しました。卒業生には、それぞれのキャリアを進展させ、21世紀の日本の医療を担う活躍を期待します。



学位記を手に笑顔を見せる卒業生

薬学類

薬剤師国家試験合格率
全国第2位!

2月に行われた第102回薬剤師国家試験において、金沢大学の合格率は全国73大学中第2位、国公立大学では第1位となりました。附属病院や市中薬局での充実した実習や、基礎学力・問題解決能力を養うカリキュラムの成果が表れ、平均合格率71.5%に対し、本学は95.2%と高い合格率を維持。新卒者は全員が合格しました。

薬学類・
創薬科学類金沢大学薬学
創立150周年記念式典を開催

薬学類・創薬科学類は、1867(慶応3)年に加賀藩が卯辰山養生所に製薬所と薬園を付設して舎密局を置いたことを起源とし、今年創立150周年を迎えました。5月20日には記念式典と講演会および祝賀会を盛大に開催し、約200名の関係者が参加。慶事を祝うとともに、薬学教育・研究のさらなる発展を祈念しました。



保健学類

保健学類1号館で
改修工事が始まりました!

医療技術短期大学部時代の昭和51年に建築され、鶴間キャンパスでは最も古い校舎となる1号館の改修工事を開始しました。昨年末からの大規模な引っ越し作業を経て、現在は足場を組む作業が進んでいます。この改修により、5専攻の学生と一緒に学べる共同学習スペースや研究支援スペースが確保され、教育研究環境の充実が図られます。



改修工事中の保健学類1号館

金沢大学の学生支援 英語学習サポート

学生のTOEICスコアと英語力の向上をサポートします！

金沢大学は、学生の英語力向上のため、TOEIC等の英語外部試験の受験を促しています。平成29年度、英語学習における学生一人一人のニーズに応えるべく、新たな支援プログラムを立ち上げました。

New! 英語力UPプログラム

目標は全員のTOEICスコア
50～100点以上アップ！

参加費無料！
(テキスト購入と受験料は自己負担)

学生の自己学習を促進させる、英語学習支援プログラムです。個別相談と英語講座による徹底した学習サポートで、学生のTOEICスコアと英語力を伸ばしていきます。

POINT.1

プロによる完全サポート

英語学習支援の専門家「英語学習アドバイザー」が、豊富な経験とノウハウを生かし、個別相談や講座を通して英語学習のコツを伝授。学生と一緒にゴールを目指します。

POINT.2

仲間と一緒に英語学習

多人数参加型の自習クラス「スタディーグループ」で、たくさんの仲間と一緒に勉強。モチベーションを高め合いながら、英語学習が続けられます。

POINT.3

TOEIC対策＆「話せる」英語の習得

英語のリスニング・リーディング能力を伸ばすトレーニングを多く取り入れ、TOEIC受験に備えます。また、留学生との英会話練習などを通して、英語を話す実践力も磨きます。

Schedule

英語学習アドバイザーとの個別面談で、TOEICの目標スコアの設定とともに、普段の生活スタイルや学習環境、現在のスコアなどを確認して、一人一人に合った学習計画を立てていきます。また、スタディーグループに参加する日時を調整します。



英語学習個別面談

＼ 週2～3回を2カ月間 /
スタディーグループ

英語学習個別面談

スタディーグループ終了後に、個別面談を再度実施。これまでの学習を振り返り、復習して身に付けた知識を定着させていきます。

直前集中講座

対策講座を短期集中で受講して、TOEIC受験に備えます。

TOEIC 受験！

10～20人が集まり、1回90分間の自習クラスに参加して、英語の学習時間を確保します。さらに、英語学習アドバイザーの指導の下、週ごとに異なるメニューに取り組み、英語力を着実に伸ばします。

★TOEIC対策ミニ講座
TOEIC試験の各パートの対策や頻出表現を学びながら、練習問題に取り組み、リスニング・リーディング能力を伸ばします。

★英会話レッスン
発音練習に始まり、日本人同士のペア練習や留学生との会話トレーニングなどを行い、より実践的な英会話を段階的に習得します。



Advisor



英語学習アドバイザー
小林 佳奈子さん

アドバイザーから一言

平成27年4月から金沢大学に常駐して仕事をしています。英語学習のサポート役として、学習方法の提案にとどまらず、学習環境や精神面などを見ながら、個人個人に合った適切なアドバイスを行うように心掛けています。

Student



人間社会学域
経済学類3年
金 奈愛さん

参加学生の感想

ープログラムに参加した理由は？
TOEICのスコアを上げたかったのと、英会話練習が魅力的だったからです。
ープログラムはどうですか？
面談で、自分に合った学習方法が見つかった、安心して英語の勉強ができています。スタディーグループも毎回楽しみです。
ー目標は？
自分の英語力に自信をつけて、就職活動などでアピールできたいなと思っています。目指せTOEIC750点！

輝く金沢大生

CIRCLE&PROJECT

金沢大学で活動するサークルやプロジェクトをピックアップして紹介します。

CIRCLE 子ども会サークル つみき

子どもの目線で触れ合う

「子どもが大好き！」そんな学生が集まった子ども会サークルつみきは、毎週土曜日に金沢市内の公園で小学生と遊ぶ活動を行っています。春にはハイキング、夏にはキャンプの季節行事を行い、子どもたちと一緒に楽しみます。行事で行うゲームはルールから小物に至るまで全て手作り。事前に開催場所を下見して、子どもたちが楽しく安全に過ごせるかの確認もするなど、隅々まで子どもたちを思う気持ちで溢れています。公園で遊ぶ際には、子どもたちからドッジボールの投げ方や流行りのゲームを覚えてもらうこともあり、子どもたちとのコミュニケーションを大切にしながら視

野を広げています。また、単に遊ぶだけでなく、遊んだ後は片付けるということを習慣にもらうため、後片付けは子どもと一緒にやることを心掛けています。「これからも子どもたちに喜んでもらうことを一番に考え活動していきたい」と代表の山田楓さん（経済学類2年）。子どもたちの元気に楽しく遊ぶ姿が、彼らの活動の原動力になっています。子どもの目線で触れ合うことを大切に活動を進めてきたからこそ、子どもたちや保護者から厚い信頼を得ているつみき。彼らはこれからもさらに活動の輪を広げていくことでしょう。



メンバー同士でゲームのシミュレーションをします



子どもたちと一緒に公園でドッジボール

CIRCLE 合気道部

熟練した技を披露し、合気道を広めたい

護身術として知られる合気道は、攻撃されたことを想定して技の型を磨く武道です。動作は突き詰めればどれも奥深く、稽古を重ねることで技を決めるコツをつかみます。金沢大学合気道部では、師範が日々の稽古や合宿に立ち会い、指導します。張り詰めた空気の中で行われる稽古では、師範自ら部員に技をかけることも。北陸地区国立大学体育大会合気道演武会などの演武会でキレイのある技を披露するため、部員たちは真剣に稽古に取り組みます。互いに技をかける際も遠慮はありません。先輩が教える側に立っても、自分の技を見直す

チャンスと捉え、先輩と後輩が切磋琢磨し、技術向上に努めています。新入生歓迎演武会と金大祭では、日常生活で起こり得るシチュエーションを想定した寸劇に合気道の技を織り混ぜて披露し、合気道の知名度向上を図っています。「もっと合気道を身近に感じてもらえたら嬉しいです」と主将の野尻晴太さん（機械工学類3年）。厳しい稽古を重ね体得した、清々しい程の熟練した技で見る人の心を捉え、合気道をさらに身近なものにすることを彼らは目指しています。



共に稽古し、高め合う仲間たち



昇段審査で稽古の成果を披露

Go to the laboratory

研究室へGO!



本学には400を超える研究室があり、教員・学生は日々研究に取り組んでいます。一口に研究室と言っても、その特徴はさまざま。教員や学生に研究内容や研究室の雰囲気などの話を伺い、その魅力を伝えます。



ドイツ語学ドイツ文学研究室

【人文学類】

専門：ドイツ語学、ドイツ文学

【主任教員】竹内 義晴 教授 【副主任教員】佐藤 文彦 准教授

どんな研究をしていますか？

ドイツ語学とドイツ文学を通して、コトバと人間の関係について研究をしています。コトバの仕組みや文学作品の分析はもちろん、現代ドイツ社会の研究に取り組む学生もいて、考察するテーマは幅広いです。

この研究室ならではの行事やイベントはありますか？

水曜の午後に、ネイティブ教員や留学生とお茶を飲みながらドイツ語で話したり、ゲームをしたりする時間を設けています。ドイツ語に興味のある他学類の学生も集まり、本学のドイツ関連分野のコア研究室としての役割も担っています。

研究室の学生さんにお聞きます。竹内先生と佐藤先生はどんな先生ですか？

竹内先生は学生の興味に合わせてドイツ音楽の話題を盛り込んだり、ユニークな授業をしてくれます。佐藤先生はみんなのお悩み相談役。留学する学生の悩みも親身に聞いてくれる、とにかく優しい先生です。

\\ We are //

教員と学生がとっても仲良し！
みんなでドイツのことを勉強し合う
研究室です！



牛島研究室

【数物科学類】

専門：双曲幾何学

【主任教員】牛島 顕 准教授

どんな研究をしていますか？

双曲幾何学の研究をしています。双曲幾何学は無限のかなたが広く、遠くへ行ってもなお幅が広がっているように見える世界です。説明すると長くなるので興味がある方はぜひ研究室へ！

他の研究室にはない特徴を教えてください！

数学の研究室といえば計算ばかりしていると思われがちですが、この研究室では説明することも重視しています。板書のような略式の表現だけではなく、教科書のような説明文を書く練習もしているのが大きな特徴です。

数学の研究で大切なことは何ですか？

歴史のある学問分野なので、2千年前からの賢人たち全員がライバルです。文献を先入観なく理解し、くじけず勉強し続けることが大事。そうすることで、考えを他者に正確に伝えられるようになり、その能力は社会に出て生きていきます。

\\ We are //

数学語と説明力が磨かれる研究室です！
(数学語：ここでは数学を他者に
伝えるときに用いる言葉の意)



河崎研究室

【医学類】

専門：脳神経医学

【主任教員】河崎 洋志 教授

どんな研究をしていますか？

赤ちゃんが生まれる際に脳ができる仕組みを調べています。また、それが異常になるとどんな病気になるかについても研究しています。最近では、生まれることが脳に与える影響や脳のしわに関する研究も行いました。

他の研究室にはない特徴を教えてください！

フェレットを実験で用いているのが大きな特徴です。フェレットはマウスよりも人の脳に近い分、取り扱いに高い技術が必要ですが、河崎研究室ではその技術を確立しました！

研究室の学生さんにお聞きます。河崎先生はどんな先生ですか？

パワフル！ アクティブ！ とにかくフットワークが軽くてバイタリティーが溢れています。将来、私たちが自立して物事を考えられる人間になるように指導してくれる先生です！

\\ We are //

探究心と食欲が旺盛！
ハングリーな研究室です★



もっと知りたい！

金沢大学のNEW SPOT

この春、金沢大学に新たに3つの施設が設置されました。国際化が進むキャンパスでの生活をより豊かにする施設や、学生の起業精神を育む空間をそれぞれ紹介します。

NEW SPOT
1

一つ屋根の下で暮らしながら国際交流
学生留学生宿舎「北溟」

★場所……角間キャンパス南側
★定員……200名(日本人学生は約80名)
★寄宿料……26,800円/月

平成24年に運用を開始した学生留学生宿舎「先魁」に続き、平成29年3月、新たに「北溟」が完成！4棟の住居棟には、日本人学生2名と留学生3名が共に暮らすシェアハウスタイプの住居が40ユニットあり、各ユニットには一人一部屋の個室と、キッチンやシャワールームなどの共用スペースを設けています。



本棚やベッドなどが完備されている個室



共用スペースは交流を深められる憩いの場

NEW SPOT
2

新たなビジネスがここから生まれる
ベンチャーカフェ

★場所……先端科学・イノベーション推進機構
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
3階リフレッシュコーナー内(角間キャンパス南地区)

在学中に起業する学生が増えていることから、起業に興味を持つ学生が気軽に集まることができる場所を設けました。ホワイトボードやモニター、電気ポットなどを備えており、お茶やコーヒーを飲みながらのミーティングが可能です。

Venture Cafe



ここに
注目！

オープン以降、利用者がどんどん増え、にぎわっています。起業意識の高い仲間が集まるので、ここでの出会いが起業のきっかけにつながります。

Hokumei



ここに
注目！

言語や文化の異なる学生が共に暮らすことで、国際感覚が自然と養われます。宿舎内の公用語は英語なので、英会話の上達にも最適です。

NEW SPOT
3

礼拝や黙想が1年を通じて行える空間
Prayer Room (礼拝室)

★場所……自然科学本館3階(角間キャンパス南地区)
★利用対象……金沢大学に在籍する学生および教職員(通例、自然科学棟を利用する者)で、信仰上の理由から礼拝や黙想の時間を必要とする者

留学生の受け入れ増加に伴い、自然科学本館に礼拝室を設置。この部屋ができたことで、大学にいる間いつでも礼拝ができるようになり、さまざまな宗教を信仰する留学生たちの学生生活がより快適になりました。

Prayer Room



ここに
注目！

快適に利用できるよう細かな利用規則を定めています。室内はカーテンで男女別に仕切られ、女性用エリアには収納棚などを設置しています。

金沢大学広報誌「Acanthus」No.38 アンケートにご協力ください



「Acanthus」に関する皆さまのご意見・ご感想を同封はがきまたはQRコードのWebサイトでお寄せください。頂いたご意見は今後の誌面作りの参考にさせていただきます。なお、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名さまに、金沢大学オリジナルクリアファイル5枚1セットをプレゼントいたします。

※プレゼント当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】平成29年10月末日

